

2025年 月刊 星空の散歩道 4月号

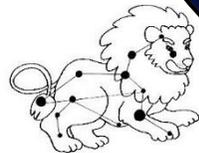
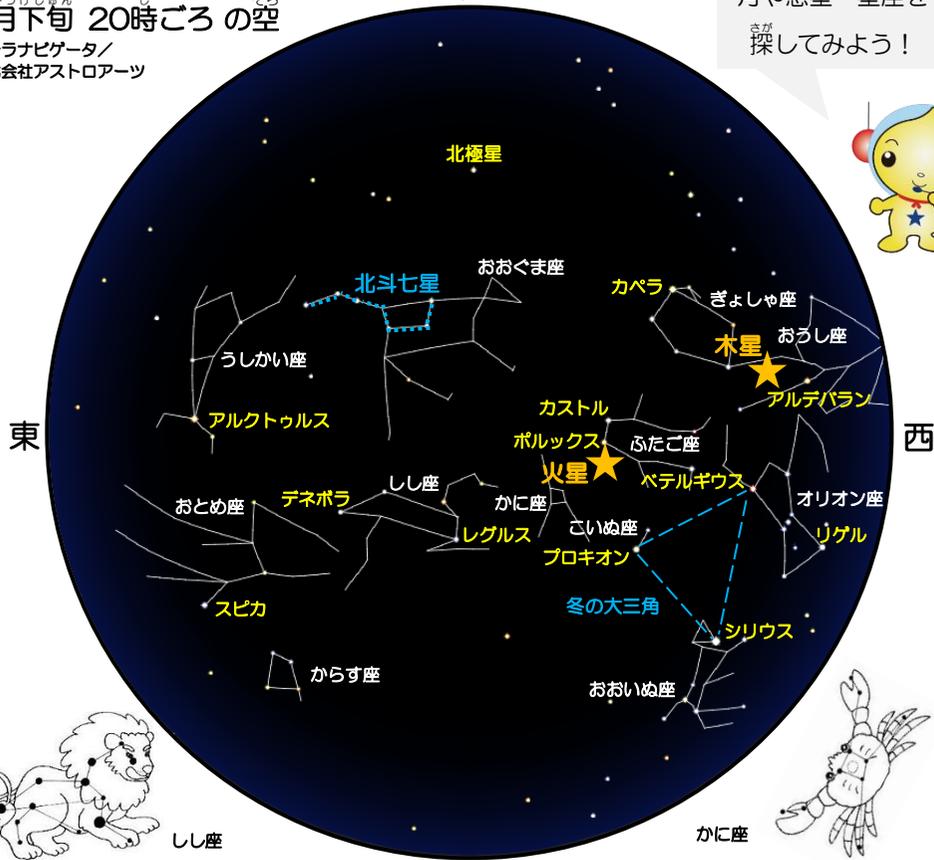
4月上旬 21時ごろ

4月下旬 20時ごろの空

ステラナビゲータ/
株式会社アストローツ

北

月や惑星・星座を
探してみよう!



4月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

西の空に冬の星座、東の空に春の星座が見える。

- < 西 > おうし座 (アルデbaran)、ぎょしゃ座 (カペラ)
ふたご座 (カストル、ポルクス)、オリオン座 (ベテルギウス、リゲル)
おおいぬ座 (シリウス)、こいぬ座 (プロキオン)
- < 天頂 > かに座、しし座 (レグルス、デネボラ)
- < 東 > うしかい座 (アルクトゥルス)、おとめ座 (スピカ)
- < 北 > 北極星、おおぐま座

☆天文トピック☆

4月2・3日 月と木星が並ぶ

日没後、西の空で月と木星が近づいて見えます。

4月5・6日 月と火星が並ぶ

日没後から真夜中頃まで、月の近くに火星が見えます。

4月8日 月とレグルスが並ぶ

しし座の一等星・レグルスのすぐ側に月が近づいて見えます。

☆月の形の変化☆

- 4月 5日 上弦
- 4月 13日 満月
- 4月 21日 下弦
- 4月 28日 新月

☆4月の惑星☆

- 火星…日没後、西の空
- 木星…日没後、西の空

<天文コラム> 古代遺跡と太陽の運行

2025年3月20日は、太陽が春分点を通過する「春分の日」です。春分点とは、太陽が空を移動する道(黄道)と、地球の赤道を空に延長した線(天の赤道)が交わる点のことです。この点を太陽が通過する瞬間を春分の日となり、昼と夜の長さがほぼ同じになります。この日を境に、北半球では昼の時間が夜よりも長くなります。



アンコール・ワット

季節の節目を知ることは古代から重要視され、その節目の時期に特別な現象を示す遺跡が世界各地にあります。例えば、メキシコのチチエン・イツァにあるマヤ文明の遺跡「エル・カステージョ」は、春分と秋分の頃、太陽の光によって蛇の形をした影が現れることで知られています。また、カンボジアのアンコール・ワットは、春分と秋分の時期の朝、太陽が中央の塔の上に昇るように設計されています。これらは、古代人が高度な天文学の知識を持っていた証拠とされています。

古代の人々は、太陽の運行を知ること、農作業の時期を決めたり、宗教儀式を行ったりしていたと考えられています。こうした太陽に関連する遺跡は、人々が太陽の動きに注目し、注意深く観測していたことを物語っています。

伊丹市立こども文化科学館 発行日 2025年3月20日

〒664-0839 兵庫県伊丹市桑津3丁目1-36 TEL: (072) 784-1222

